

IBDとともに働き続けるコツ

～事務職編～

IBD（炎症性腸疾患）に付きもののお仕事に関するお悩み。
就職してからも「どうしたらいい？」にぶつかることはよくあります。
就労サポートの専門家や先輩患者さんのお話を聞いたり、
共通の悩みを持つ皆さんとオンライン上で集まって話してみたりしませんか？

日時：2021年6月26日（土）14時00分～16時00分

開催形式：オンライン（zoom）

対象：IBDの患者さん、またはそのご家族・パートナー

進行：株式会社ジーケア 宮崎

講演：14時00分～14時30分

治療をしながら働く人のリテラシー ～それぞれの働き方の為に～

就労支援ネットワークONE 中金竜次さん

14時30分～15時00分

3名のIBD患者さんによるパネルディスカッション

ファシリテーター：中金竜次さん

15時00分～16時00分

全参加者がグループに分かれての交流会

参加ルール：顔出しは必須ではありません。

カメラOFF・ニックネームでの参加が可能です。

申込方法：下記サイトより事前にお申込みください。

<https://gcareglobal.com/event-2/>

*今回ご参加いただけなかった方には、優先して
次回開催のご案内をご登録メールアドレスへ送付いたします。

申込締め切り：2021年6月25日（金）

先着

50名様



↑ スマートフォンの方は
こちらからも登録ができます



共催：株式会社ジーケア・田辺三菱製薬株式会社

【講師のご紹介】 中金 竜次 さん

就労支援ネットワークONE 代表
就労支援ネットワークコーディネーター
(治療と仕事の両立)
治療と仕事の両立支援サポーター
看護師・就労支援者



【メッセージ】

これまで多くのIBD患者の方から、転職や就労継続、働き方、仕事選び等のご相談を承って参りました。

長く就労経験を積まれた、IBD患者の方々のお話からは、試行錯誤された体験のなかで培われたコツ、とらえ方や考え方、その工夫等をうかがうことが多々あり、私自身、多くの学びを得た時間であったことに気が付きます。

キャリアにはそもそもアンコントロールラブルな要素があり、そして、人生にはトランジション（転機）が幾度となく訪れますが、そうした人生の転機の際にも、治療をしながら働くリテラシー（活用する力）を備えることは有効ではないかと思われます。

ひととき、就労継続をされている人にみる工夫、考え方等、そして、仕事を続ける際の、制度やルールの要所について、事例なども交え、ポイントを絞ってお話させていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

《患者さん用サイトのご案内》

・Gコミュニティ：<https://gcarecommunity.com/> →



・知ったクカフェ クローン病：<https://www.remicare.jp/cd/>

・知ったクカフェ 潰瘍性大腸炎：<https://www.remicare.jp/uc/> →

